

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

中期経営計画の重点施策

事業構造の強靱化、研究開発の結実、徹底した合理化、サステナビリティへの取り組み
深化に取り組む売上高
1,450億円営業利益
90億円ROE
8.5%設備投資
500億円

2 中長期の経営戦略

1. 事業構造の強靱化

吸水性樹脂事業はシンガポール子会社で2025年度内新設備完成。機能マテリアル事業は事業ポートフォリオ見直し・売価是正で収益性向上

3. 徹底した合理化

吸水性樹脂の原単位改善・CO2削減プロセス改善。全社でシステム活用・デジタル化による業務自動化・高速化を推進

2. 研究開発の結実

環境配慮型新製品開発、紙おむつからの樹脂リサイクル技術、次世代半導体材料・電池用電解液添加剤開発。姫路・別府で研究施設整備

4. サステナビリティ深化

6項目マテリアリティ（衛生・健康・QOL、エネルギー、インフラ、消費生産、ジェンダー、カーボンニュートラル）のKPI設定・達成

3 対処すべき課題

① コンプライアンス・品質課題

- ・グループ会社の原材料調達先無断変更・虚偽請求事案の再発防止
- ・組織間チェック機能再構成による業務適正性確保体制構築
- ・お客様・品質目線での会社運営を力点とした統制強化

② 機能マテリアル事業再生

- ・IRラテックス販売終了・エレクトロニクスガス低調に伴う中期目標下方修正
- ・不採算事業からの撤退を含む事業ポートフォリオ見直し
- ・売価是正による収益性向上への抜本的事業戦略見直し

③ 中期業績目標の再設定

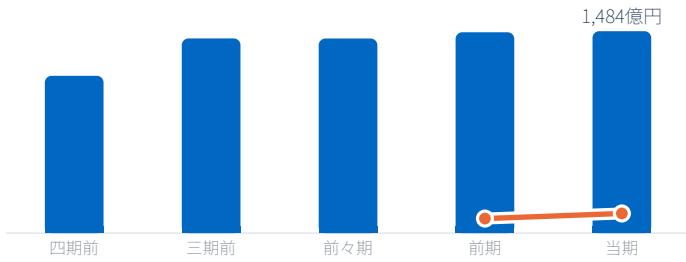
- ・機能マテリアル事業の抜本的戦略見直し後の新目標策定
- ・新製品開発加速による成長基盤構築

面接で使えるポイント

- ・シンガポール新設備2025年度完成によるアジア市場での販売拡大戦略
- ・使用済み紙おむつから吸水性樹脂を回収する水平ケミカルリサイクル技術開発
- ・衛生・健康・QOL、カーボンニュートラル等6項目マテリアリティを通じたサステナビリティ推進

証券コード 4008

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,484億円営業利益率
9.7%財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 55.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
685万円

化学内 119位/204社

平均年齢
38.5歳

化学内 187位/204社

平均勤続
15.64年

化学内 114位/204社

女性管理職
6.7%

化学内 81位/173社

男性育休
91.7%

化学内 63位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

